

子育て応援 高崎の保育支援

保育所入所を 通年で受け付け

これまで年に2回だった保育所の申し込みを、通年で受け付けています。また、預ける保育所が決まらない保護者の不安を解消するため、入所の可否を原則2週間で回答しています。

育休中でも姉・兄を 継続して預けらる

出産後、育休中の保護者が家においても、すでに保育所に入所してる姉・兄も継続して入所できます。上の子の再入所の心配を解消し、保護者の負担を減らす取り組みです。

ワンストップで課題解決 「子育てなんでもセンター」

「高崎は子育てにやさしいまちで、本当にラッキー」というのが実感です。中でも、まちなかにある『子育てなんでもセンター』は週3、4回利用す



高崎駅から徒歩圏内にある「子育てなんでもセンター」

小澤 沙弥香さん

県外出身で、都内の企業に勤める小澤さん。2児の母で、現在は育休中です。子育て支援施設や、医療・保育制度など高崎市は子育て世代へのサポートが充実していると言います。まちなかで買い物をしたり郊外の公園に出かけたり、高崎での子育てライフを満喫する小澤さんにお話を伺います。

小澤 沙弥香さん

千葉県出身。2児の母で、都内の企業に新幹線通勤をしています。現在は育休中。高崎駅で同じく新幹線通勤のママ友と出会う「お疲れ様」と挨拶を交わすこともあったそうです。



「子育て世代の “あったらいいな”を 本気でかなえる」

子育て世代を応援する 先進的な取り組み

高崎市では、中学3年生まで所得にかかわらず医療費が無料です。病院の窓口にも「福祉医療費受給資格者証」を提示するだけなので、領収書の管理や後で申請手続きをするといった手間がなく、申請もれの心配もありません。通院が頻繁になりがちな子育て世代の負担軽減は、大きな安心につながっています。

また「第2子を妊娠すると、第1子は保育園を退所しなければならぬ」という自治体が多い中、高崎市で

子育て世代にうれしい 身近な憩いの場や豊かな自然

「高崎駅周辺は大型商業施設があり、買い物するのにとても便利。そして、車で烏川を渡ればすぐに、観音山をはじめ自然の豊かさを感じられる場所が広がって、子育てにも最適な環境です」。

小澤さんのお気に入りの一つが、観音山公園にある「ケルナー広場」。子どもの冒険心を駆り立て、危険を回避する能力や身体能力・体力を向上させる遊具を設置。ハラハラ・ドキドキしながら思いっきり遊べると評判です。

また、安産・子育ての宮として知られている山名八幡宮の中にあるカフェは、ママたちが子どもを遊ばせながら、気兼ねなく食事やお茶の時



カラフルな遊具が揃う観音山公園のケルナー広場。夏にはプールエリアも開放され、多くの親子連れでにぎわう。

間を楽しめると、お気に入りの場所となつていきます。

「高崎駅0番線からレトロな車体の上信電鉄に乗って5番目の山名駅を降りてすぐの所にあるので、電車好きの息子は大好き。路線に鉄橋があつて川を渡る景色の変化も新鮮です。また、電車といえば、高崎アーリーナの隣にある小さな公園は、機関車や在来線、新幹線が見られる絶好のビュースポット。複合遊具もあつて、小さな子どもたちを安心して遊ばせることができます」と、高崎の暮らしを子どもたちと一緒に楽しんでる様子が伝わってきます。